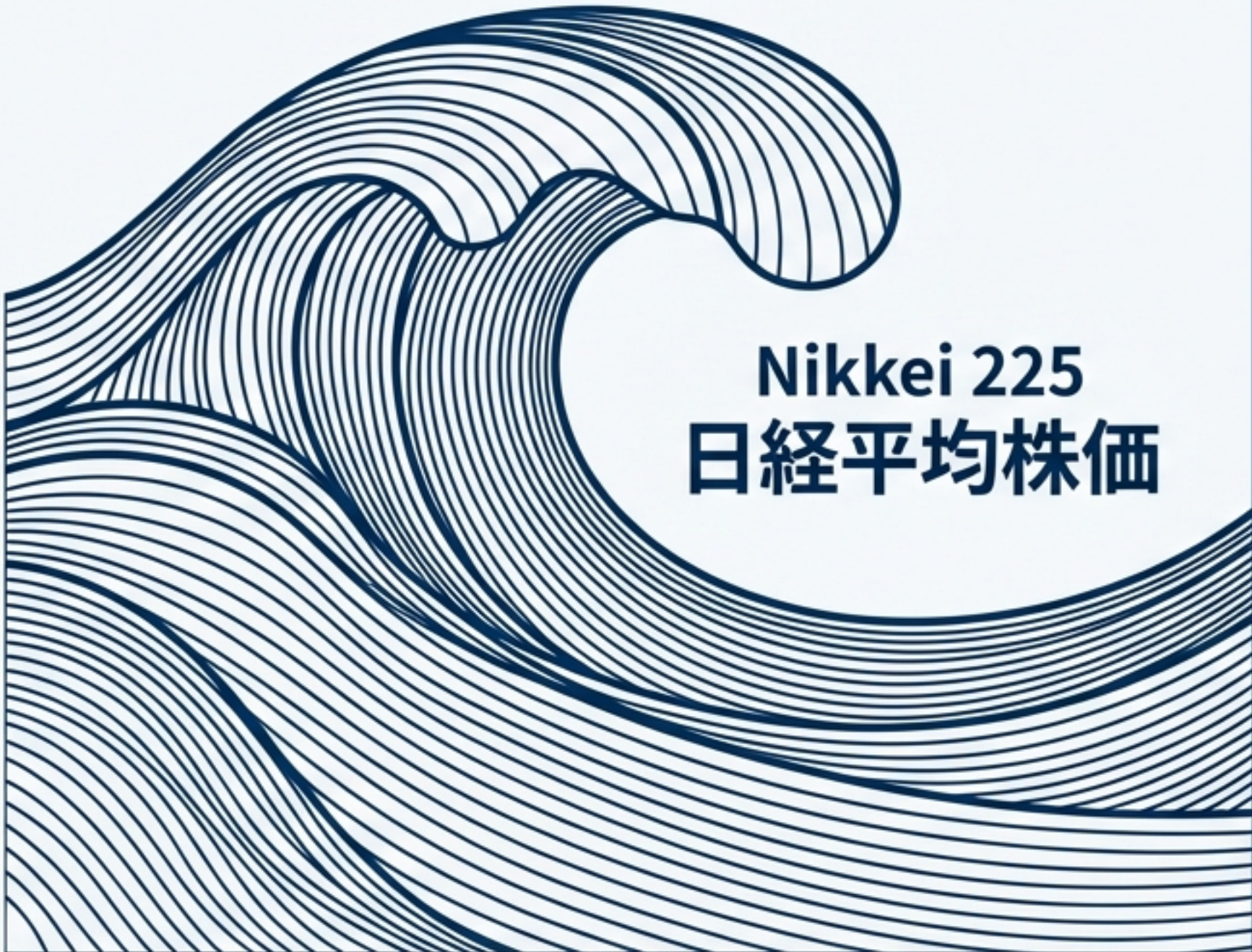


仕手戦開始の条件と日経平均株価の相関性

市場の「隙」を突く、仕手筋の行動原理を読み解く



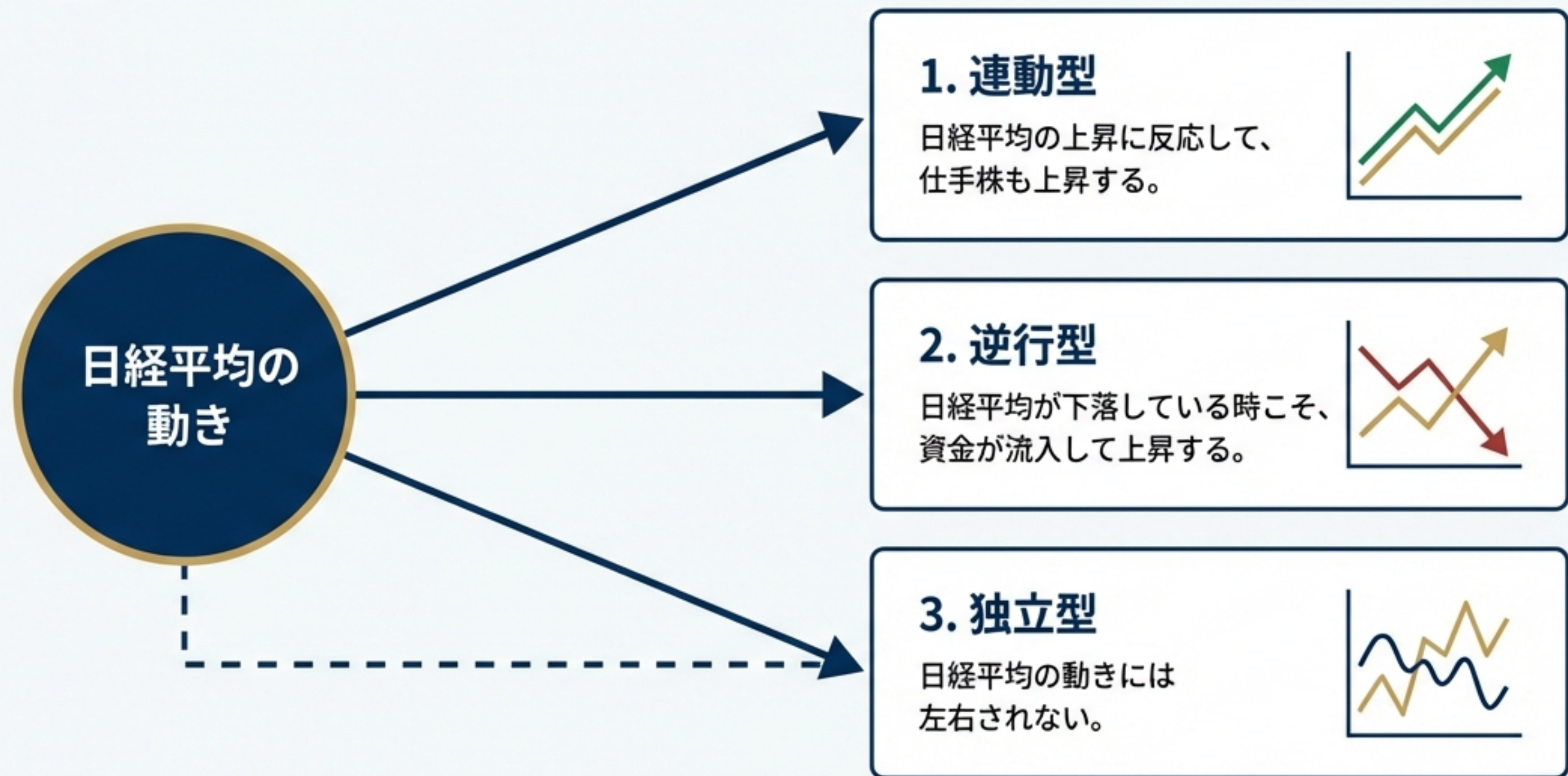
Nikkei 225
日経平均株価



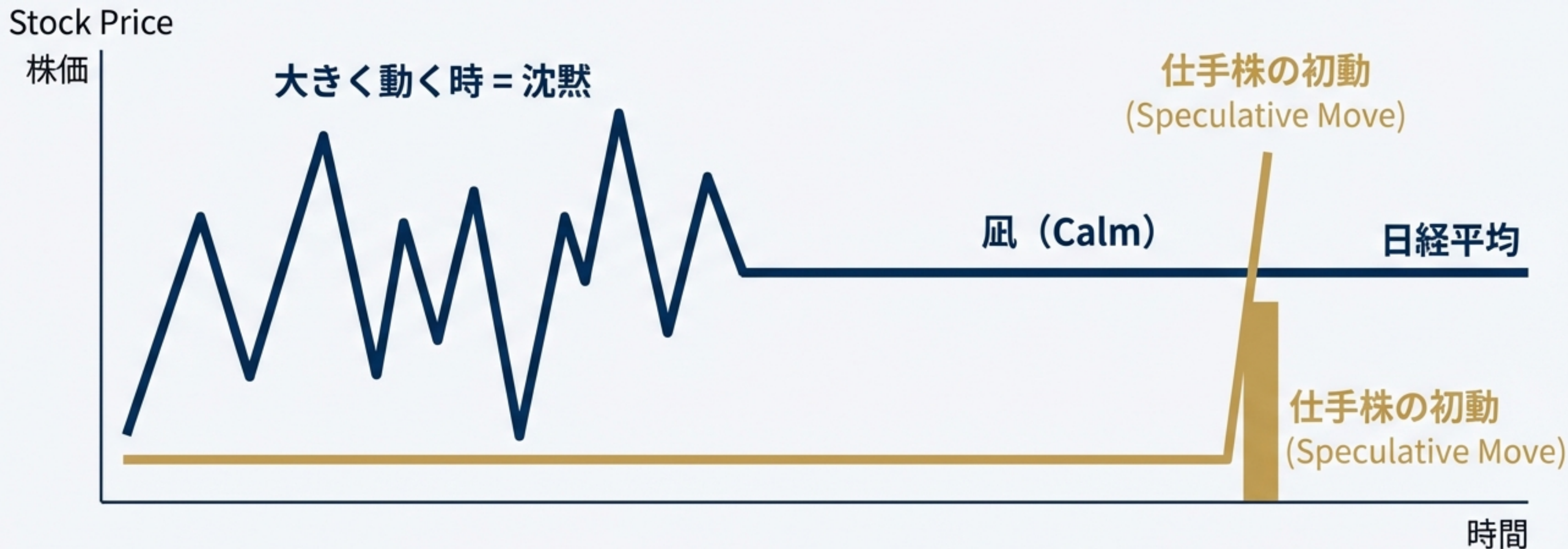
Speculative
Stock
仕手株

疑問：日経平均が上がれば、仕手株も上がるのか？

仕手戦が始まるタイミングにおいて、全体相場（日経平均）はどのような影響を与えるのでしょうか。
以下の3つの可能性が考えられます。



【結論】 仕手株は「凪（なぎ）」の時こそ動き出す



大きく動く時は沈黙

日経平均が急騰・急落している局面では、仕手株は動かない傾向があります。

動かない時が好機

日経平均が横ばい、あるいは動きが乏しい時こそ、仕手戦が開始される可能性が高まります。

シナリオA：日経平均が「急上昇」している時

仕手筋の判断： 静観（玉集めのみ）



• 資金の偏り

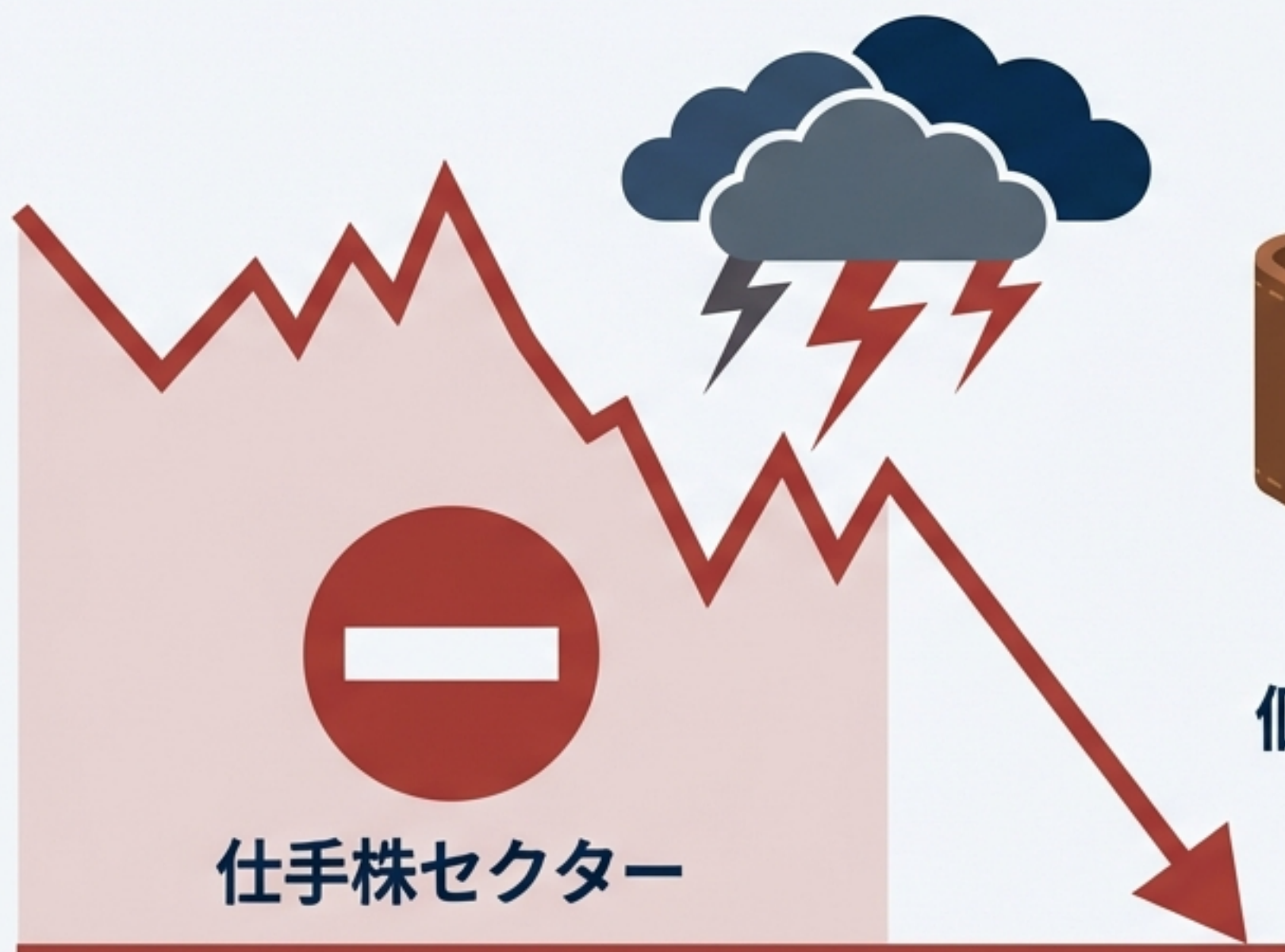
相場全体が強い時は、資金が大型株（主力株）に集中します。リスクの高い仕手株には資金が回ってきません。

• 仕手筋の行動

この時期に無理に株価を吊り上げても、個人の資金がついてきません。そのため、彼らは目立たないように「株集め（買上げ）」を行うだけに留め、高値までは追いません。

シナリオB：日経平均が「急落」している時

仕手筋の判断：回避



個人投資家

・心理的萎縮

相場全体が崩れると、個人投資家は損失を抱え（塩漬け）、新たな投資への余力がなくなります。

・リスク回避

誰もついてこれない状況で仕手戦を始めても、仕手筋自身が売り抜けることができなくなります。

・結論

投資家があえてリスクの高い銘柄に手を出さないため、資金は流入しません。

シナリオC：日経平均が「動かない」時

仕手筋の判断： 実行（GOサイン）

The Spotlight Effect



- ・ 退屈という隙
主力株が動かず、市場に材料がない時、投資家は刺激を求めます。
- ・ ランキングの支配
このタイミングで特定の銘柄を動かすと「値上がり率ランキング」で容易に目立つことができます。
- ・ 注目の一極集中
他にノイズがないため、個人投資家の資金を効率的に誘導できます。

仕手筋が抱える「初動」のジレンマ

目立ちたくないが、買わせたい

理想の展開



安値で仕込み、高値で個人
投資家に売りつける。

初動の嫌悪



まだ株を集めきっていない段階で
群がられることを嫌う。

市場環境の利用

だからこそ、日経平均が暴落して市場が混乱している時は避け、他の銘柄に
埋もれやすい、あるいはコントロールしやすい「平時」を選びます。

「絶対」ではないが、無視できない確率

- ・ 例外的な動き

ごく稀に、日経平均が下落している時に、あえて「値上がり率ランキング」の上位を独占するために仕掛けてくるケースもあります。

- ・ 基本姿勢

一般的には「日経平均が動かない時＝仕手株が動く」傾向が強いです。



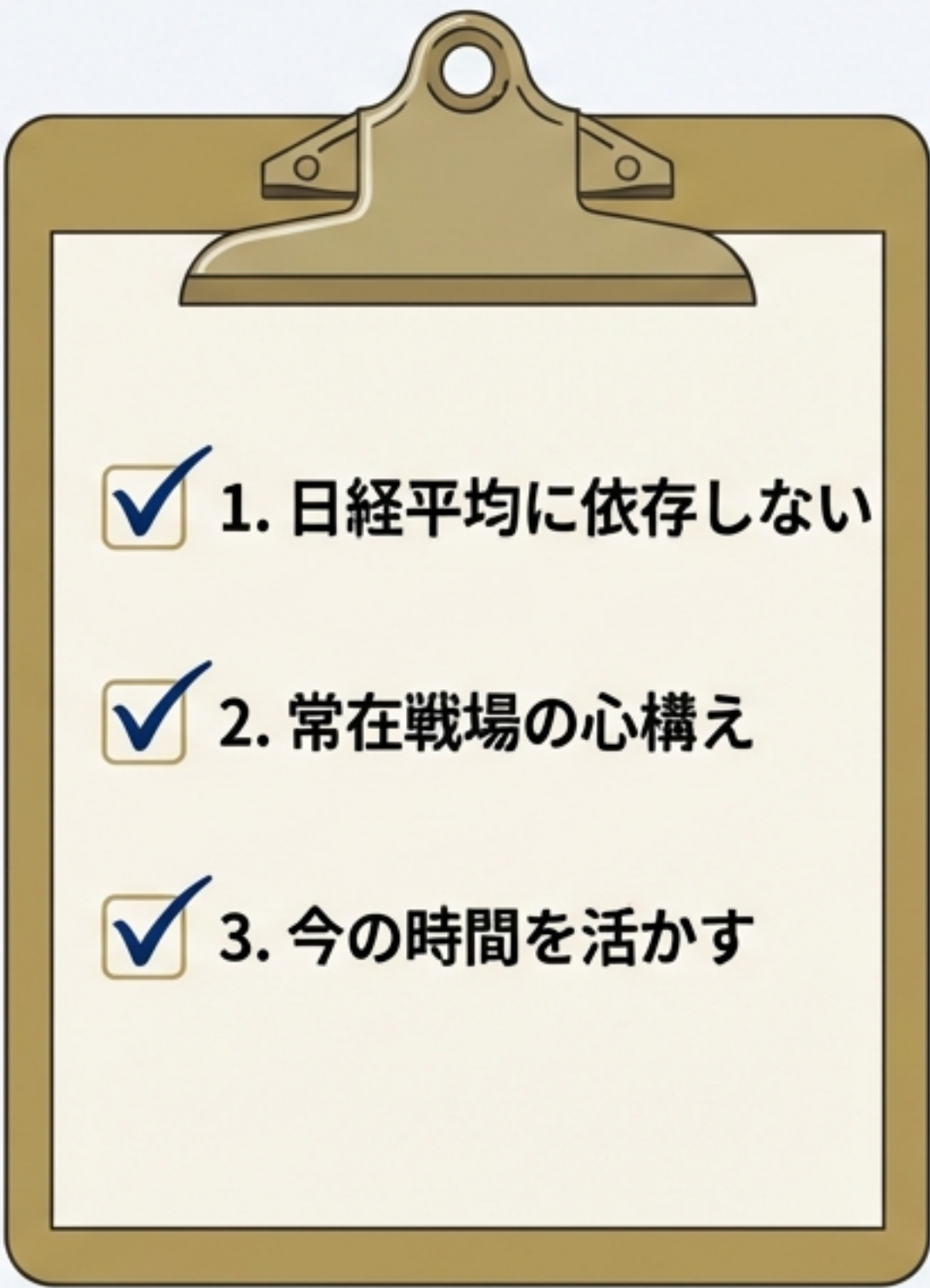
- ・ 投資家のスタンス

日経平均の動きに過敏になりすぎる必要はありませんが、この相関関係（確率論）を頭に入れておくことは重要です。

市場環境別・仕手戦発生マトリクス

日経平均	資金の流れ	仕手筋の動き	判定
急上昇	大型株へ	静観・買上げのみ	⚠ 注意
急落	現金化・回避	リスク回避	✕ 停止
横ばい	材料株へ	仕掛け	◎ チャンス

個人投資家がとるべき行動

- 
- ✓ 1. 日経平均に依存しない
 - ✓ 2. 常在戦場の心構え
 - ✓ 3. 今の時間を活かす

日経平均に依存しない

指数だけを見て仕手株の売買判断をしないこと。

常在戦場の心構え

仕手筋のタイミングは彼らが決めます。いつ「初動」が起きてもいいように準備をしておくことだけが、個人にできる唯一のことです。

今の時間を活かす

相場が動かない時間を「退屈」と捉えず、スキルアップや銘柄分析の時間と捉えましょう。

出典・関連情報

仕手株.コム (Shitekabu.com)

仕手株投資による利益の共有を
目的とした専門サイト

- ・ 提供情報: 銘柄ごとの株価動向
- ・ 仕手戦の理論
- ・ 日々の企画 (有料・無料)

**「個人だからこそ、証券会社には
できないファンベースを持つ」**

URL: www.shitekabu.com

